



《 学校教育目標 》

- 基本目標 郷土みなかみを愛するとともに、確かな学力と豊かな人間性を身に付けた心身ともにたくましい児童の育成を図る。
- 具体目標 **よく学び 体をきたえ 心をたがやす**

自分で考えて、 自分で決めて自分で動き出す！

群馬県教育委員会より、群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）が発表され、2年目になりました。群馬県教育ビジョンの最上位目標には、「ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自らの学びをつくり、行動し続ける『自律した学習者』の育成」が重要であると位置づけられています。この「エージェンシー」という概念は、「人が誰しも生まれついてもっている自分と社会をよりよくしようと願う意志、原動力のこと」と、群馬県は定義しています。これからの時代を生きていく私たちに必要なことが「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す」ことなのだそうです。

本校では子どもたちが「自律した学習者」になるために、教師が「～させる」授業から、児童が「～する」授業への転換を図れるよう、「自由進度学習」にチャレンジしています。自由進度学習とは、「子ども自身が学習計画を立て、自己決定に基づいて学習を進める方法」です。今年度は総合教育センターの自由進度学習の研究協力校にもなっており、昨年度、総合教育センターで自由進度学習の研修をした、大川先生や下飯先生がリーダーシップを発揮し、先生方へのアドバイスも行ってくれています。9月5日には、県教育長をはじめ、たくさんの教育関係者の方々が公開授業の参観をしてくださいました。子どもたちの確かな学力の向上のために「チーム水上」で頑張ります。



キャリア朝礼を実施しました！

9月2日（火）に今年度第1回目のキャリア朝礼を実施しました。キャリア朝礼は、子どもたちに「将来の夢」をもってもらいたい、また、家族で「将来の夢について語り合ってもらいたい」という願いを込めて実施しています。



今回の講師は、食べログ100名店（ピザの部）にも3回選ばれている、みなかみ町湯原の「窯焼きピザの店ラ・ビエール」の店主である山田直彦さんです。

山田さんは水上生まれであり、私の出身である水上中学校の先輩でもあります。山田さんがピザ屋を志した理由の根底にあるのは「ふるさとみなかみ町を元気にしたい」という思いだったそうです。今は「ピザでみなかみ町を元気にしたい。」ということが現在の夢だそうです。「小さくても美味しくて魅力的な光り輝くお店」を作るために頑張っているそうです。

最後に山田さんから、「今、夢が見つからない人も焦ったり、不安になったりする必要はない。いつか必ず見つかる時がくる。」という話もありました。焦らずじっくり自分の夢を探せるとよいと思います。短い時間でしたが、将来の夢や働きたい仕事への参考になったと思います。山田さん、お忙しい中ありがとうございました。※お話の最後に「おいで祭り」の宣伝もしていただきました。



「水上ハート」タイム

総合的な学習を中心に地域学習（水上ハートタイム）を進めます。地域の様々な方々にお世話になり、「水上大好き」の心を育てます。

9月4日（金）の1校時、6年生の総合的な学習の時間に、みなかみ町幸知で「そば処 角彌」を運営していられる渡辺一彦さんをお迎えしました。6年生の総合的な学習の時間では、現在「みんなが住みたい町」について学習しています。渡辺さんには、家業であるおそば屋さんの歴史や、みなかみ町で開業するようになったきっかけなどを、資料を示しながら話していただきました。みなかみ町への愛が伝わってきました。また、社訓「和をもって貴しと為す」「温故知新」「先義後利」のお話もとても心に残るものでした。貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。

